



まなびかんニュース パソコン道場

# まなパソコン道場

第59回

紙面記載の画面は  
Windows7+Office2013  
操作環境によっては表示  
が異なる場合があります

白帯級  
初級レベル

茶帯級

中級レベル

黒帯級

上級レベル

## 白帯級

## ピボットテーブルは集計名人！

## Excel

	A	B	C
1	生徒名簿		
2	名前	自宅	学校名
3	ジャック	上町	中央小学校
4	花子	大津町	浦賀第1小学校
5	子口	汐入	中央小学校
6	新之助	森崎	北久里浜第2小学校
7	ポー	汐入	中央小学校
8	イチロー	日の出町	中央小学校
9	ショーン	若松町	北久里浜第2小学校
10	ジロー	日の出町	北久里浜第2小学校
11	タカコ	平成町	北久里浜第2小学校
12	メラ	上町	中央小学校
13	プンタ	大津	中央小学校
14	ジョン	森崎	中央小学校
15	パコ	平成町	浦賀第1小学校
16	トウキチロー	平成町	中央小学校
17	三次	日の出町	中央小学校
18	ミカ	大津	北久里浜第2小学校
19	ケン	浦賀	浦賀第1小学校
20	淳一	逸見	北久里浜第2小学校
21	ボンタ	大津	中央小学校

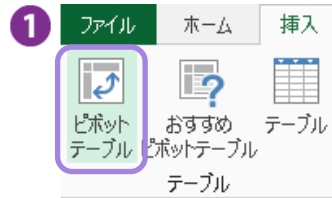
上の表をみてほしい。  
19人の生徒の名前と自宅、学校名が記載されている。この表をもとに「自宅のある住所別に各学校へ通っている人数」を計算してみたい。

「関数は苦手・・・」  
「数式は難しくてよく分からない」  
「急に集計しろって言われても・・・」

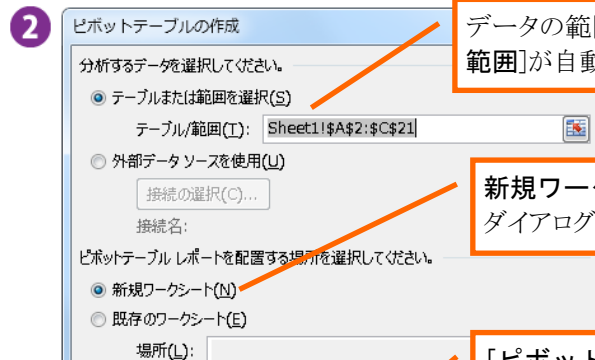
こんな人は無理に関数や数式で悩まず、  
ピボットテーブルという機能を使ってみよう。

「名前だけは知ってるけど、なんかムズカシそう・・・」そう思ったら敬遠したくなるのも無理はない。  
さあややこしいコトはさておき、まずは試しに少ない項目でやってみよう。

今回は個数(人数)を集計するだけだが、フィルタなど使って様々な集計・分析・抽出に利用できる。  
試したあと「なんだ？こんなにカンタンだったの!!」と感じてもらえれば大きな前進だ。

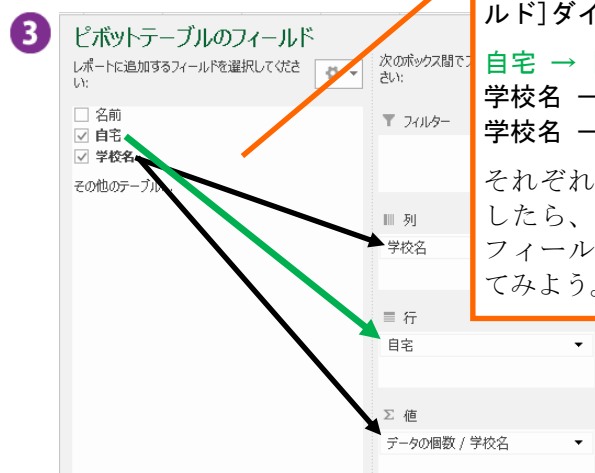


表の中のどこでも良いので、セルを1箇所選択。メニューの[挿入]→[ピボットテーブル]をクリック。すると「ピボットテーブルの作成」ダイアログが表示される。



データの範囲として[テーブル/範囲]が自動で認識される。

新規ワークシートを選択。ダイアログ下段のOKを押す。



[ピボットテーブルのフィールド]ダイアログ左側の、  
自宅 → [行]の枠へ  
学校名 → [列]の枠へ  
学校名 → [値]の枠へ  
それぞれ右枠内へドラッグしたら、どこでも良いのでフィールド外をクリックしてみよう。

ご覧の通り勝手に集計された。次に表全体を選択し右クリック→[セルの書式設定]で罫線をつけたりセル幅を調整など、見た目を整えよう。  
さあ出来たかな？

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	データの個数 / 列ラベル				
4	行ラベル	浦賀第1小学校	中央小学校	北久里浜第2小学校	総計
5	逸見			1	1
6	浦賀	1			1
7	汐入		2		2
8	若松町			1	1
9	上町		2		2
10	森崎		1	1	2
11	大津町	1			1
12	大津		2		3
13	日の出町		2		3
14	平成町	1	1		3
15	総計	3	10	6	19

■ 『まなびかんニュース』の主な配布場所：まなびかん(生涯学習センター)・市役所・行政センターやコミュニティセンターなどの公共施設をはじめ市内のJR・京急各駅、主な郵便局や金融機関、医療関係機関などに置いてあります。  
■ 配送事情・施設の都合などにより、1日に配架できない場合があります。